

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

運用報告書(全体版) 第25期

(決算日 2020年6月16日)

(作成対象期間 2019年12月17日～2020年6月16日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
21期末(2018年6月18日)	7,828	0	△ 5.9	9,886	△ 4.2	96.3	2.0	37,720
22期末(2018年12月17日)	7,256	0	△ 7.3	9,612	△ 2.8	95.8	2.5	30,947
23期末(2019年6月17日)	7,734	0	6.6	10,210	6.2	94.0	3.0	26,997
24期末(2019年12月16日)	8,063	0	4.3	10,333	1.2	94.9	3.4	24,676
25期末(2020年6月16日)	5,830	0	△ 27.7	8,035	△ 22.2	93.5	4.4	15,219

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

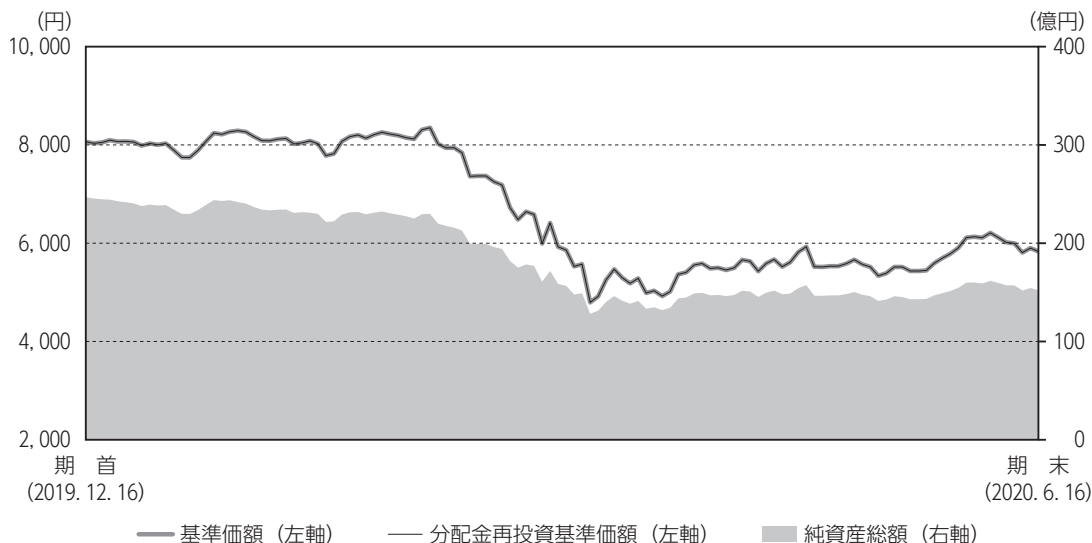
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：8,063円

期末：5,830円（分配金0円）

騰落率：△27.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてインド株式に投資した結果、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて保有株式が下落したことに加え、対円でインド・ルピーが下落（円高）したことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I イ ン ド 指 数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2019年12月16日	8,063	—	10,333	—	94.9	3.4
12月末	8,030	△ 0.4	10,368	0.3	94.1	3.6
2020年 1 月末	8,023	△ 0.5	10,310	△ 0.2	94.0	3.6
2 月末	7,843	△ 2.7	9,966	△ 3.5	94.3	3.8
3 月末	5,182	△ 35.7	6,831	△ 33.9	93.6	4.1
4 月末	5,819	△ 27.8	7,779	△ 24.7	93.0	4.2
5 月末	5,696	△ 29.4	7,778	△ 24.7	93.6	4.3
(期末) 2020年 6 月16日	5,830	△ 27.7	8,035	△ 22.2	93.5	4.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 12. 17 ~ 2020. 6. 16)

■インド株式市況

インド株式市場は下落しました。

インド株式市場は、当作成期首より2020年1月中旬までは、米中通商協議の進展やインド政府による追加の景気刺激策への期待などを支援材料に上昇しました。しかし1月下旬から3月にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に世界的に投資家心理が悪化する中、インド国内においても感染拡大が進み、経済活動の停滞が意識され大きく値を下げました。

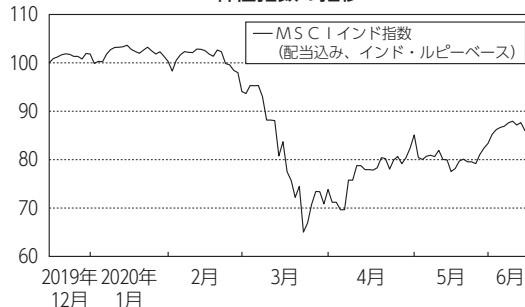
その後4月に入ると、欧米での新型コロナウイルス感染拡大のピークアウト期待に加え、インド政府による追加の経済対策期待などを背景に底打ちしました。当作成期末にかけては、インドにおいて段階的に経済活動が再開されるなど、世界的に景気回復への楽観が広がる中で、上昇基調となりました。

■為替相場

インド・ルピーは、円に対して下落しました。

インド・ルピーは、当作成期首より2020年2月までは横ばい圏で推移しました。3月に入ると、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な投資家心理の悪化に加え、インド国内での感染拡大や都市封鎖措置を受けて、対円で大きく下落しました。その後4月から当作成期末にかけては、インドにおいて段階的に経済活動が再開されたことは好感されたものの、政策金利の低下を嫌気し、横ばい圏での推移となりました。

株価指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、資産の健全性が回復し、流動性の改善などを背景に資金調達コストの低下が期待される銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、モンスーン期の良好な降水量を受けて消費拡大が期待されることから、一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

ポートフォリオについて

(2019. 12. 17 ~ 2020. 6. 16)

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、中長期的に貸出残高や手数料収入の増加などを通じた業績の拡大が見込まれた金融セクター、インフラ投資などを背景に需要の拡大が期待された素材セクターなどを組入上位としました。

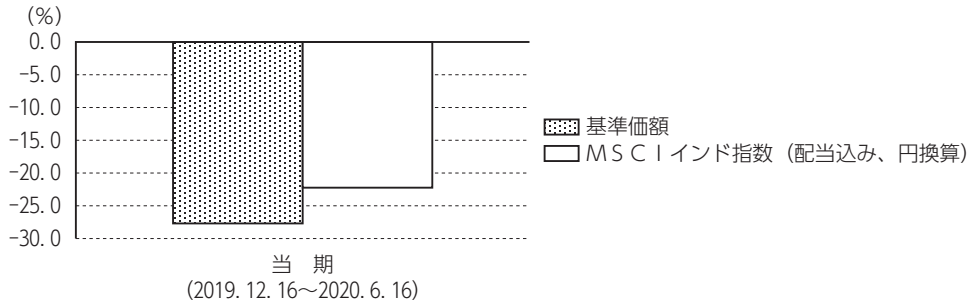
個別銘柄では、個人向けローンの拡大などを背景に堅調な業績が見込まれた民間銀行大手の HDFC BANK LIMITED（金融）や、豊富な資金力を背景に通信や小売り事業の拡大が期待された大手財閥の RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A（エネルギー）などを組入上位としました。

また、生産能力の増強などを背景に業績拡大が見込まれたセメント大手の AMBUJA CEMENTS LTD（素材）や、優れた実績を持ち今後の市場シェア拡大が期待された食料品メーカー大手の BRITANNIA INDUSTRIES LTD（生活必需品）などを買い付けました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年12月17日 ～2020年6月16日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,097	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、強い財務体質を持ち、株価バリュエーション面で投資妙味がある銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、経済活動の再開後に、業績の速やかな回復が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 12. 17～2020. 6. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0.924%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,676円です。
(投 信 会 社)	(29)	(0.440)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.440)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	12	0.173	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0.168)	
(先物・オプション)	(0)	(0.004)	
有 価 証 券 取 引 税	5	0.074	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(5)	(0.074)	
そ の 他 費 用	4	0.061	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.035)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0.023)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	82	1.230	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

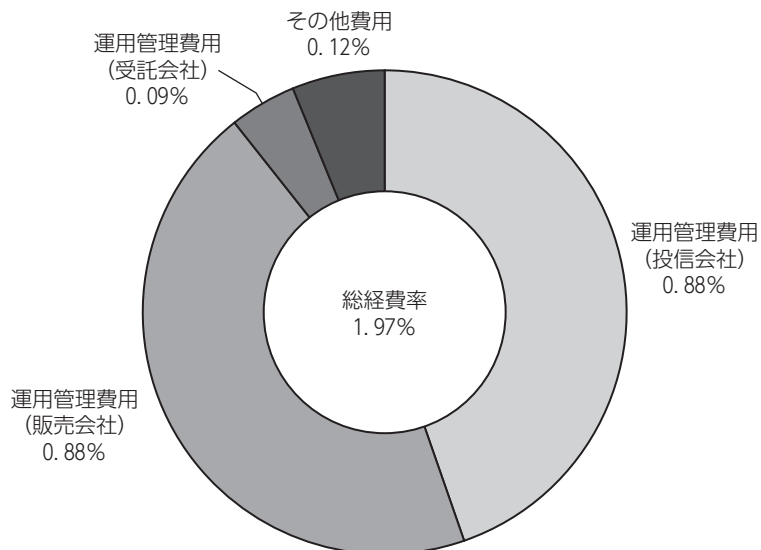
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年12月17日から2020年6月16日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	375,005	279,000	4,212,251	3,874,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年12月17日から2020年6月16日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	9,412,624千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	17,569,326千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.53

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	24,843,783	21,006,537	15,189,826			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	15,189,826	98.2
コール・ローン等、その他	285,472	1.8
投資信託財産総額	15,475,299	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.32円、1インド・ルピー＝1.42円です。

(注3) ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(15,077,775千円)の投資信託財産総額(15,262,341千円)に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	15,475,299,760円
コール・ローン等	217,472,825
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド(評価額)	15,189,826,935
未収入金	68,000,000
(B) 負債	256,070,513
未払解約金	82,744,571
未払信託報酬	172,811,233
その他未払費用	514,709
(C) 純資産総額(A-B)	15,219,229,247
元本	26,105,137,063
次期繰越損益金	△ 10,885,907,816
(D) 受益権総口数	26,105,137,063口
1万口当り基準価額(C/D)	5,830円

* 期首における元本額は30,605,357,584円、当作成期間中における追加設定元本額は1,301,473,349円、同解約元本額は5,801,693,870円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は5,830円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は10,885,907,816円です。

■損益の状況

当期 自 2019年12月17日 至 2020年6月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 28,161円
受取利息	1,969
支払利息	△ 30,130
(B) 有価証券売買損益	△ 5,436,735,335
売買益	453,838,228
売買損	△ 5,890,573,563
(C) 信託報酬等	△ 173,326,250
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 5,610,089,746
(E) 前期繰越損益金	1,099,225,365
(F) 追加信託差損益金	△ 6,375,043,435
(配当等相当額)	(1,264,806,042)
(売買損益相当額)	(△ 7,639,849,477)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 10,885,907,816
次期繰越損益金 (G)	△ 10,885,907,816
追加信託差損益金	△ 6,375,043,435
(配当等相当額)	(1,264,806,042)
(売買損益相当額)	(△ 7,639,849,477)
分配準備積立金	1,599,114,310
繰越損益金	△ 6,109,978,691

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:46,553,798円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,264,806,042
(d) 分配準備積立金	1,599,114,310
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,863,920,352
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,863,920,352
(h) 受益権総口数	26,105,137.063口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

運用報告書 第25期 (決算日 2020年6月16日)

(作成対象期間 2019年12月17日～2020年6月16日)

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。）
株式組入制限	無制限

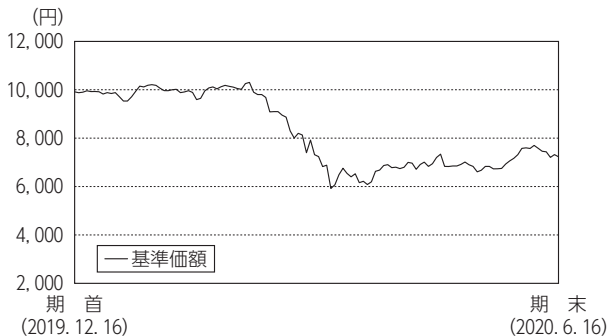
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式先比率	
	円	%	騰落率 (参考指数)	%	%	%
(期首) 2019年12月16日	9,916	—	10,340	—	95.1	3.4
12月末	9,883	△ 0.3	10,376	0.3	94.3	3.6
2020年1月末	9,890	△ 0.3	10,318	△ 0.2	94.2	3.6
2月末	9,682	△ 2.4	9,974	△ 3.5	94.6	3.8
3月末	6,401	△ 35.4	6,837	△ 33.9	93.8	4.1
4月末	7,201	△ 27.4	7,784	△ 24.7	93.1	4.2
5月末	7,059	△ 28.8	7,784	△ 24.7	93.8	4.3
(期末) 2020年6月16日	7,231	△ 27.1	8,041	△ 22.2	93.7	4.4

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率÷売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,916円 期末：7,231円 騰落率：△27.1%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式に投資した結果、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて保有株式が下落したことに加え、対円でインド・ルピーが下落(円高)したことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市場は下落しました。

インド株式市場は、当作成期首より2020年1月中旬までは、米中通商協議の進展やインド政府による追加の景気刺激策への期待などを支援材料に上昇しました。しかし1月下旬から3月にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に世界的に投資家心理が悪化する中、インド国内においても感染拡大が進み、経済活動の停滞が意識され大きく値を下げました。その後4月に入ると、欧米での新型コロナウイルス感染拡大のピークアウト期待に加え、インド政府による追加の経済対策期待などを背景に底打ちしました。当作成期末にかけては、インドにおいて段階的に経済活動が再開されるなど、世界的に景気回復への楽観が広がる中で、上昇基調となりました。

○為替相場

インド・ルピーは、円に対して下落しました。

インド・ルピーは、当作成期首より2020年2月までは横ばい圏で推移しました。3月に入ると、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な投資家心理の悪化に加え、インド国内での感染拡大や都市封鎖措置を受けて、対円で大きく下落しました。その後4月から当作成期末にかけては、インドにおいて段階的に経済活動が再開されたことは好感されたものの、政策金利の低下を嫌気し、横ばい圏での推移となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主に、インド経済の発展に必要なインフラ(社会基盤)投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、資産の健全性が回復し、流動性の改善などを背景に資金調達コストの低下が期待される銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、モンスーン期の良好な降水量を受けて消費拡大が期待されることから、一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

◆ポートフォリオについて

主に、インフラ(社会基盤)投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、中長期的に貸出残高や手数料収入の増加などを通じた業績の拡大が見込まれた金融セクター、インフラ投資などを背景に需要の拡大が期待された素材セクターなどを組入上位としました。

個別銘柄では、個人向けローンの拡大などを背景に堅調な業績が見込まれた民間銀行大手のHDFC BANK LIMITED(金融)や、豊富な資金力を背景に通信や小売り事業の拡大が期待された大手財閥のRELIANCE INDS-SPONS GDR 144A(エネルギー)などを組入上位としました。

また、生産能力の増強などを背景に業績拡大が見込まれたセメント大手のAMBUJA CEMENTS LTD(素材)や、優れた実績を持ち今後の市場シェア拡大が期待された食料品メーカー大手のBRITANNIA INDUSTRIES LTD(生活必需品)などを買い付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主に、インド経済の発展に必要なインフラ(社会基盤)投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内

容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、強い財務体質を持ち、株価バリュエーション面で投資妙味がある銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、経済活動の再開後に、業績の速やかな回復が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

■売買および取引の状況

(1) 株式

(2019年12月17日から2020年6月16日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 — (—)	千アメリカ・ドル — (—)	百株 3,460	千アメリカ・ドル 7,952
	インド	百株 59,096.83 (187.6)	千インド・ルピー 1,980,651 (—)	百株 90,891.59	千インド・ルピー 3,727,225

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	14円 (14) (0)
有価証券取引税 (株式)	6 (6)
その他費用 (保管費用) (その他)	5 (3) (2)
合 計	25

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2019年12月17日から2020年6月16日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
株式先物取引	4,286	4,279	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株 式

(2019年12月17日から2020年6月16日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
AMBUJA CEMENTS LTD (インド)	千株 702.1	千円 230,441	円 328	RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	千株 114.1	千円 498,943	円 4,372
TATA MOTORS LTD (インド)	791	230,194	291	STATE BANK OF INDIA (インド)	1,367.4	473,226	346
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS (インド)	379.8	203,859	536	KOTAK MAHINDRA BANK LTD (インド)	186.4	458,663	2,460
CROMPTON GREAVES CONSUMER EL (インド)	391.553	175,172	447	ICICI PRUDENTIAL LIFE INSURA (インド)	599.319	455,119	759
HCL TECHNOLOGIES LTD (インド)	169.9	155,463	915	ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	231.9	368,991	1,591
TATA CONSULTANCY SVCS LTD (インド)	53.6	145,527	2,715	BHARAT PETROLEUM CORP LTD (インド)	458.5	290,172	632
DEEPAK NITRITE LTD (インド)	213.7	119,622	559	L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD (インド)	159.769	259,980	1,627
HINDALCO INDUSTRIES LTD (インド)	357	117,938	330	AU SMALL FINANCE BANK LTD (インド)	283.879	250,659	882
BAJAJ AUTO LTD (インド)	23.6	115,413	4,890	HERO MOTOCORP LTD (インド)	67.6	248,504	3,676
TRENT LTD (インド)	124.182	108,835	876	AVENUE SUPERMARTS LTD (インド)	83.6	245,365	2,934

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
ICICI BANK LTD-SPON ADR	11,087	8,768	7,812	838,414	金融
INFOSYS LTD-SP ADR	5,646	5,646	5,205	558,666	情報技術
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	3,660.06	2,519.06	10,819	1,161,134	エネルギー
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	20,393.06	16,933.06	23,837	2,558,215
	銘柄数 < 比率 >	3銘柄	3銘柄		< 16.8% >
	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
(インド)					
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND	8,120.34	—	—	—	金融
ESCORTS LTD	—	644	60,590	86,038	資本財・サービス
ICICI PRUDENTIAL LIFE INSURA	5,993.19	1,321	51,664	73,363	金融
BALKRISHNA INDUSTRIES LTD	—	592	67,488	95,832	一般消費財・サービス
CROMPTON GREAVES CONSUMER EL	—	3,915.53	86,787	123,238	一般消費財・サービス
SRF LTD	243	—	—	—	素材
ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD	—	654.48	55,149	78,312	一般消費財・サービス
AVENUE SUPERMARTS LTD	1,227.94	559.94	132,442	188,068	生活必需品
HDFC LIFE INSURANCE CO LTD	—	1,077	53,839	76,451	金融
AU SMALL FINANCE BANK LTD	2,838.79	—	—	—	金融
L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	1,597.69	—	—	—	資本財・サービス
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	626.62	467.62	121,847	173,023	金融
VARUN BEVERAGES LTD	—	853	55,811	79,252	生活必需品
DEEPAK NITRITE LTD	2,203.07	4,340.07	206,739	293,569	素材
CITY UNION BANK LTD	6,752.39	—	—	—	金融
TRENT LTD	—	1,241.82	63,481	90,144	一般消費財・サービス
TATA STEEL LTD	—	1,230	37,662	53,480	素材
AXIS BANK LTD	8,529	8,529	332,289	471,851	金融
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	796.5	796.5	436,143	619,323	一般消費財・サービス
COLGATE PALMOLIVE (INDIA)	795.68	—	—	—	生活必需品
ASIAN PAINTS LTD	896	666	107,772	153,036	素材
NESTLE INDIA LTD	—	32	52,480	74,522	生活必需品
HINDUSTAN UNILEVER LTD	2,629.22	2,133.22	444,627	631,370	生活必需品
STATE BANK OF INDIA	20,114	6,440	111,862	158,845	金融
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	1,564	—	—	—	資本財・サービス
TITAN CO LTD	—	607	57,567	81,746	一般消費財・サービス
BAJAJ AUTO LTD	—	236	64,393	91,439	一般消費財・サービス
BHARAT PETROLEUM CORP LTD	6,221	1,636	59,059	83,864	エネルギー
ULTRATECH CEMENT LTD	748	748	280,111	397,757	素材
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	5,169	3,305	412,761	586,121	金融
BRITANNIA INDUSTRIES LTD	272	484	162,488	230,733	生活必需品
CUMMINS INDIA LTD	1,387.91	—	—	—	資本財・サービス
DIVI'S LABORATORIES LTD	1,502.2	1,062.2	248,029	352,201	ヘルスケア
MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD	5,910	—	—	—	一般消費財・サービス
SHREE CEMENT LTD	120.42	120.42	266,335	378,197	素材
TECH MAHINDRA LTD	2,201	2,201	120,790	171,523	情報技術

銘柄	株数	当 株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
TORRENT POWER LTD	3,444.59	1,675	54,621	77,562	公益事業	
AIA ENGINEERING LTD	1,155.41	1,055	167,739	238,190	資本財・サービス	
TVS MOTOR CO LTD	2,718	1,555	53,523	76,002	一般消費財・サービス	
BATA INDIA LTD	927	927	124,301	176,508	一般消費財・サービス	
JUBILANT FOODWORKS LTD	—	333	56,533	80,277	一般消費財・サービス	
EICHER MOTORS LTD	52	36	59,335	84,255	一般消費財・サービス	
BAJAJ FINANCE LTD	570	570	134,029	190,322	金融	
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	—	3,798	62,249	88,393	金融	
HINDALCO INDUSTRIES LTD	8,482	12,052	175,718	249,519	素材	
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	—	536	108,802	154,499	情報技術	
LARSEN & TOUBRO LTD	5,820.5	4,677.5	420,928	597,718	資本財・サービス	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	3,478	3,084	540,208	767,096	金融	
HDFC BANK LIMITED	10,793.8	9,826.8	933,398	1,325,426	金融	
RELIANCE INDUSTRIES LTD	835	—	—	—	エネルギー	
HERO MOTOCORP LTD	676	—	—	—	一般消費財・サービス	
BHARTI AIRTEL LTD	8,664.56	8,664.56	477,157	677,563	コミュニケーション・サービス	
ABB INDIA LTD	938	—	—	—	資本財・サービス	
AMBUJA CEMENTS LTD	—	7,021	134,452	190,922	素材	
DABUR INDIA LTD	3,315	3,315	150,384	213,546	生活必需品	
HCL TECHNOLOGIES LTD	3,594	5,293	306,438	435,142	情報技術	
INDIAN HOTELS CO LTD	10,259.68	12,263.68	106,694	151,505	一般消費財・サービス	
インド・ルピー通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	154,182.5 42銘柄	122,575.34 45銘柄	8,216,736 <76.8%>	11,667,765 <93.7%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	174,575.56 45銘柄	139,508.4 48銘柄	—	14,225,980 <93.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外国	百万円	百万円
SGX NIFTY 50 (シンガポール)	662	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円	%
	14,225,980	93.2
コール・ローン等、その他	1,036,361	6.8
投資信託財産総額	15,262,341	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.32円、1インド・ルピー=1.42円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(15,077,775千円)の投資信託財産総額(15,262,341千円)に対する比率は、98.8%です。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	15,262,341,951円
コール・ローン等	715,121,004
株式（評価額）	14,225,980,870
未収入金	50,768,155
未収配当金	6,009,025
その他未収収益	8,928,728
差入委託証拠金	255,534,169
(B) 負債	72,219,818
未払解約金	68,000,000
その他未払費用	4,219,818
(C) 純資産総額（A－B）	15,190,122,133
元本	21,006,537,043
次期繰越損益金	△ 5,816,414,910
(D) 受益権総口数	21,006,537,043口
1万口当り基準価額（C／D）	7,231円

*期首における元本額は24,843,783,372円、当作成期間中における追加設定元本額は375,005,476円、同解約元本額は4,212,251,805円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド21,006,537,043円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は7,231円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,816,414,910円です。

■損益の状況

当期 自 2019年12月17日 至 2020年6月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	61,849,316円
受取配当金	52,032,018
受取利息	503,598
その他収益金	9,364,480
支払利息	△ 50,780
(B) 有価証券売買損益	△ 5,736,224,250
売買益	579,512,449
売買損	△ 6,315,736,699
(C) 先物取引等損益	△ 165,906,900
取引益	151,993,721
取引損	△ 317,900,621
(D) その他費用	△ 10,596,378
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	△ 5,850,878,212
(F) 前期繰越損益金	△ 207,783,027
(G) 解約差損益金	338,251,805
(H) 追加信託差損益金	△ 96,005,476
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	△ 5,816,414,910
次期繰越損益金（I）	△ 5,816,414,910

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。